

「広報」 という仕事

『水資源機構の業務の重要性を、外部の方々との対話を通じ着実に伝えていくことが、機構の業務をよりよく実施していくために必要』との観点から、あらゆる広報手段を通じPRすることで、利水者、報道機関、国民のみならずなどの理解と信頼を得るため『積極的かつ効果的な広報』に職員一同で協力し努めています。

記者発表

水資源機構の全ての事務所で、事業の状況をはじめ、業務全般について、新聞社、テレビ・ラジオ局などの報道機関から構成される地元の関係記者クラブ(記者会)に対し、随時、分かり易い資料を用い、積極的な情報提供を行うこととしています。

広報誌

水資源の有限性、重要性について、国民の皆様及び関係機関のご理解をいただくため、機構施設、その周辺の風景、四季折々の出来事、話題など、季節感ある記事などを織り交ぜながら、広報誌「水とともに」を年4回季刊発行しています(発行部数約4,600部)。機構ホームページ(電子ブック版)でもご覧頂けます。

ホームページ

平成8年度から事務所単位でホームページの公開を進めてきたことから、各事務所の工夫が活かされ、他機関からのリンクのご要望、お問合わせも数多く寄せられています。情報の提供・収集の媒体としての重要度が高く、平成30年度の機構全体のホームページへのアクセス件数は約255万件に達しました。

Twitter

機構の取り組みについて、これまで以上にタイムリーで拡がりのある情報発信に取り組み、広報の充実を図ることを目的として、平成24年度からTwitterを導入しています。平成29年6月からは、各ダム洪水調節など、ダム下流にお住まいの方々の避難行動のきっかけとなる防災操作に関する情報をリアルタイムで提供するとともに、ダムの機能と効果に関する正しい情報を広く一般にお伝えするなど、出水時におけるリアルタイム広報の充実を図っています。

Facebook

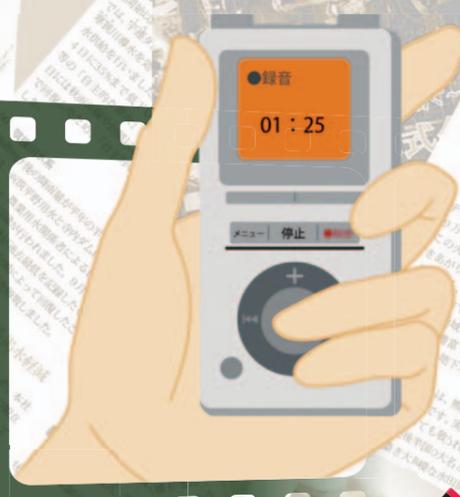
職員の日常の生の声を伝えるべく、動画や写真をふんだんに用いた情報発信を行っています。機構職員一人ひとりが広報マンとして現場の出来事を気軽に報告できる仕組み(広報レポーター制度)を活用し、イベント情報、施設周辺の行楽情報や季節ごとに移り変わる様子など、多彩な情報発信の原動力となっています。平成30年度は234件の投稿を行い、ページファン数は平成30年度末時点で1,257名となりました。

YouTube

TwitterやFacebookでは伝えることが難しい再生時間の長い映像を中心に、動画を掲載しています。とりわけ、機構が管理する施設の中で普段なかなか見ることができない様々な視点からの迫力ある美しい放流動画「美放流」を編集・作成し、機構についてのPRを行うとともに、本動画をご覧いただいた多くの方々が、実際にダムを見にかけようとの動機に繋げることで水源地域振興の一助となることを視野に、YouTubeに公開しています。



まつ おか ひでのり
松岡 秀法
 記者発表担当



広報課で総括及び記者発表を担当しています松岡です。
 この4月に広報課に配属となり、早5か月になりますが、広報という仕事は初めてでして、一般の人たちやメディア等、色んな観点での配慮が必要なんだなあ
 と痛感しています。片やダムに対する好意的な報道に触れると、水資源機構
 の仕事の必要性が伝わった、そんなやりがいも感じています。6月には広報の
 方針の説明ということで、各支社局を訪問させていただきました。今後も
 水資源機構の広報をもり立てていきたいと考えていますので、気軽にお声か
 けください。よろしくお願ひいたします。

広報誌を担当しております川崎です。
 日頃より、広報誌作成にあたり情報提供、原稿等作成にご協力いただいている皆さま、また、ご購入いただいている皆さまに感謝申し上げます。初めて形として残る仕事に、嬉しさを覚える反面、「伝えること」の難しさを痛感しています。皆さまから頂いた嬉しいお声や、厳しいお声を胸に、毎号舞い上がっては、悩み、時々ニヤニヤ。執筆と誌面構成で頭はパン!パン!でも、もっともっと「水資源機構」を皆さんに知って頂きたいと思うから、今日も机に向かいます。

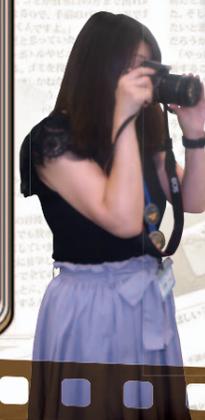
かわ さき みほ
川崎 美穂
 広報誌担当



しば た けんいち
柴田 健一
 ホームページ
 Twitter・
 YouTube 担当



ホームページは、分かりやすく、見やすいページづくりをモットーに日々更新しています。機構が皆さんに知って頂きたい事柄と、皆さんが知りたいであろう事柄のギャップが悩ましいところです。
 ツイッターは、機構の22事務所が導入しており、防災操作のリアルタイム情報以外にも、イベント、ダム・水路・堰で見られる四季の動植物、地元情報など、随時発信しています。是非、フォローをお願いします。
 YouTubeは、日々刻々と進んでいくダム建設、水路や堰の建設から現在に至る歴史、ダムや堰とその周辺のドローン空撮、アユの遡上など、その時しか見られないダイナミックな動画を現在、約60本公開しています。皆さん、チャンネル登録をよろしくお願いします。



主に水の週間実行委員会事務局として、毎年8月の「水の日」、「水の週間」に関するイベント等業務に携わっています。具体的には、8月1日の「水を考えるつどい」やその後の「水の展示会」の開催に向け、関係者との調整等をしたり、「水の日」、「水の週間」関係イベントである「水とのふれあいフォトコンテスト」の開催や、「上下流交流事業」の募集業務などもしています。
 また、広報誌「水とともに」の執筆・校正、広報課予算の執行・管理、新聞社とのクリッピング契約、Facebookの編集なども担当しています。Facebookについては、各事務所や地元の情報を掲載しますので、紹介したいネタがありましたら、当方までどしどし情報提供をお願いします。

せき ぐち ゆたか
関口 裕
 水の週間
 Facebook 担当

